

広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の公表

～ 平成24年11月 ～

この「財政状況の公表」は、皆さんに、広域連合のお金がどのように使われているのかといった広域連合の財政状況を知っていただくため、5月に下半期分（前年10月1日から3月31日まで）の財政状況と当年度の当初予算、11月に上半期分（4月1日から9月30日まで）の財政状況と前年度の決算状況を「広島県後期高齢者医療広域連合の財政状況の作成及び公表に関する条例」に基づき公表するものです。

今回は、平成24年度上半期（平成24年4月1日から9月30日まで）の6か月間の予算の執行や財産の状況と平成23年度の決算状況についての公表となります。

また、各項目の最後に、主要な予算科目の内容について簡単に説明していますので参考にしてください。

平成24年度上半期の財政状況

～予算執行の状況と資産等の概要～

以下で説明する財政状況は、平成24年9月30日現在で記載しています。

1 平成24年度上半期の補正予算の概要

上半期の補正予算のうち主なものは、次のとおりです。

(1) 一般会計

平成24年9月30日までに一般会計予算の補正はありませんでした。

(2) 後期高齢者医療特別会計

・第1号補正（7月） ※専決処分

平成23年度後期高齢者医療交付金が確定し、交付済額が超過となったため、社会保険診療報酬支払基金への返還金（586,361千円）を歳出予算に計上し、その財源として給付準備基金からの繰入金を増額しました。

●上半期の一般会計補正予算の状況

(歳入)

(単位：千円)

区 分	当初予算	予算現額
分担金及び負担金	839,651	839,651
国庫支出金	3,321	3,321
県支出金	3,321	3,321
財産収入	750	750
寄附金	1	1
繰入金	160,000	160,000
繰越金	1	1
諸収入	395	395
合 計	1,007,440	1,007,440

(歳出)

(単位：千円)

区 分	当初予算	予算現額
議会費	1,905	1,905
総務費	289,783	289,783
民生費	710,589	710,589
公債費	163	163
予備費	5,000	5,000
合 計	1,007,440	1,007,440

●上半期の後期高齢者医療特別会計補正予算の状況

(歳入)

(単位：千円)

区 分	当初予算	第1号補正 (7月) ※専決処分	予算現額
市町支出金	58,431,014		58,431,014
市町保険料負担金	(29,979,677)		(29,979,677)
国庫支出金	119,636,876		119,636,876
県支出金	32,073,483		32,073,483
支払基金交付金	151,255,335		151,255,335
特別高額医療費共同事業交付金	45,189		45,189
財産収入	448		448
寄附金	1		1
繰入金	2,656,024	586,361	3,242,385
繰越金	1		1
県財政安定化基金借入金	1		1
諸収入	313,998		313,998
合 計	364,412,370	586,361	364,998,731

※市町保険料負担金：市町支出金のうち保険料についての再掲

(歳出)

(単位：千円)

区 分	当初予算	第1号補正 (7月) ※専決処分	予算現額
総務費	728,263		728,263
保険給付費	361,545,635		361,545,635
県財政安定化基金拠出金	334,310		334,310
特別高額医療費共同事業拠出金	70,845		70,845
保健事業費	311,977		311,977
基金積立金	1,344,486		1,344,486
公債費	3,247		3,247
諸支出金	48,607	586,361	634,968
予備費	25,000		25,000
合 計	364,412,370	586,361	364,998,731

2 平成24年度上半期の歳入歳出予算の執行状況

予算執行状況については次のとおりです。

●一般会計の予算執行状況（平成24年9月30日現在）

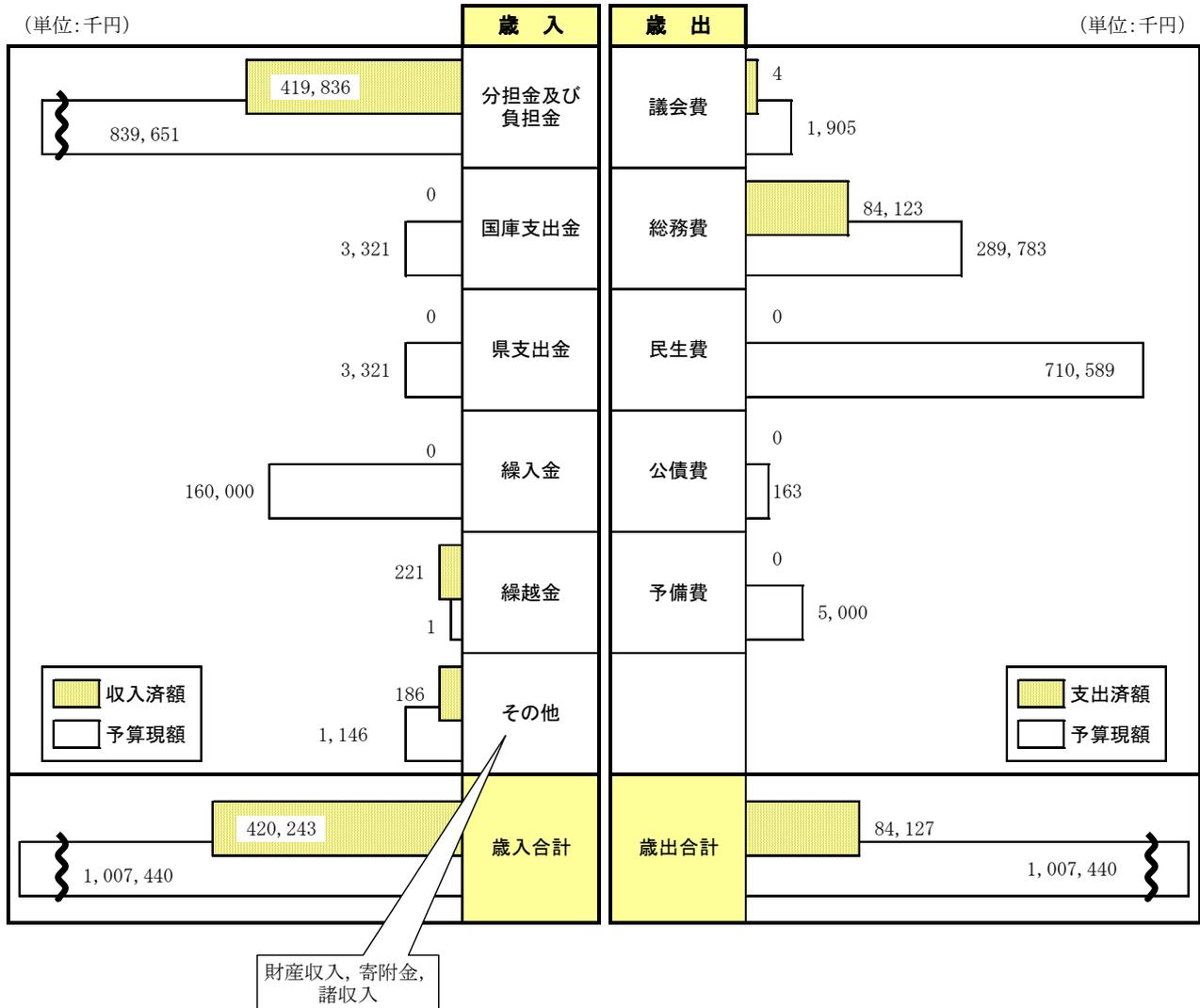
（歳入） （単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
分担金及び負担金	839,651	419,836	50.0%
国庫支出金	3,321	0	0.0%
県支出金	3,321	0	0.0%
財産収入	750	47	6.3%
寄附金	1	0	0.0%
繰入金	160,000	0	0.0%
繰越金	1	221	22,100.0%
諸収入	395	139	35.2%
合 計	1,007,440	420,243	41.7%

（歳出） （単位：千円）

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
議会費	1,905	4	0.2%
総務費	289,783	84,123	29.0%
民生費	710,589	0	0.0%
公債費	163	0	0.0%
予備費	5,000	0	0.0%
合 計	1,007,440	84,127	8.4%

グラフ「平成24年度一般会計予算の執行状況（平成24年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

●後期高齢者医療特別会計の予算執行状況（平成24年9月30日現在）

（歳入）

（単位：千円）

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)
市町支出金	58,431,014	23,953,944	41.0%
市町保険料負担金	(29,979,677)	(11,515,527)	(38.4%)
国庫支出金	119,636,876	66,781,652	55.8%
県支出金	32,073,483	16,476,488	51.4%
支払基金交付金	151,255,335	60,853,250	40.2%
特別高額医療費 共同事業交付金	45,189	0	0.0%
財産収入	448	82	18.3%
寄附金	1	0	0.0%
繰入金	3,242,385	1,793,720	55.3%
繰越金	1	1,109	110,900.0%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%
諸収入	313,998	119,596	38.1%
合計	364,998,731	169,979,841	46.6%

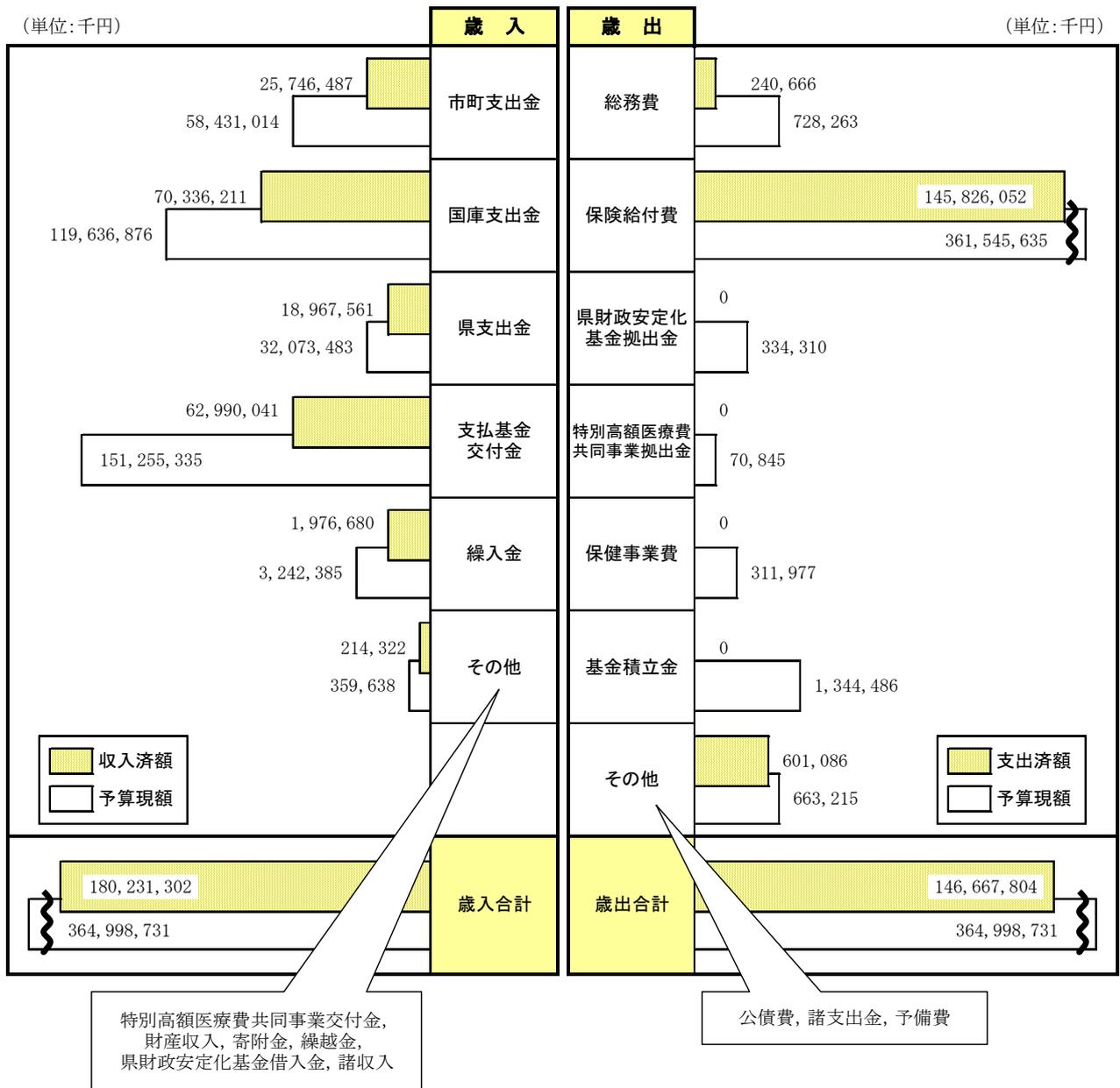
※市町保険料負担金：市町支出金のうち保険料についての再掲

（歳出）

（単位：千円）

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)
総務費	728,263	239,425	32.9%
保険給付費	361,545,635	141,701,962	39.2%
県財政安定化 基金拠出金	334,310	0	0.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	70,845	0	0.0%
保健事業費	311,977	0	0.0%
基金積立金	1,344,486	39	0.0%
公債費	3,247	0	0.0%
諸支出金	634,968	787,830	124.1%
予備費	25,000	0	0.0%
合計	364,998,731	142,729,256	39.1%

グラフ「平成24年度後期高齢者医療特別会計予算の執行状況（平成24年9月30日現在）」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

3 広域連合が所有する財産の現在高

広域連合では、その行政目的を達成するため、財産を管理・運用しています。

財産は、管理状況を明確にし、常にその目的に応じて最も効率的に運用するように努めています。

平成24年9月30日現在において、広域連合が所有する財産は、次のとおりです。

【物 品】

区 分	数 量	摘 要
物 品	4	高速印刷機 1 台、財務会計システム 1 式、広域連合システム DB サーバ関連機器 1 式、広域連合システム処理結果検証用機器 1 式

(取得価格 1 件 100 万円以上の物品)

【基 金】

名 称	金 額 (円)	摘 要
財政調整基金	378,510,904	決算剰余金等を積み立て、不測の支出に備えるための基金
後期高齢者医療制度 臨時特例基金	460,822,050	被用者保険の被扶養者であった被保険者の保険料激変緩和措置等の財源補てんのための基金
後期高齢者医療給付 準備基金	2,027,356,070	徴収した保険料のうち、その年度に余ったものを積み立て、次年度以降の給付に充てるための基金

4 一時借入金及び地方債の借入状況

(1) 一時借入金

一時借入金とは、一時的な現金の不足を補うための年度内の短期借入金です。

平成24年4月1日から9月30日までの間に、一時借入金の借入れはありませんでした。

(2) 地方債（広域連合債）

地方債とは、その償還が借入年度以降にわたる長期の借入金で、多額の事業費の財源を確保し、費用負担の世代間格差を是正するために認められているものです。

平成24年9月30日現在において、地方債の借入れはありません。

主要な予算科目の内容

1 一般会計

(歳 入)

区 分	説 明
分担金及び負担金	広域連合を構成する23市町からの事務費分担金
国庫支出金	医療費が著しく低い市町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の1/2の国庫負担金
県支出金	医療費が著しく低い市町（神石高原町）の被保険者の保険料を軽減した額の1/2の県負担金
財産収入	基金の運用預金利子
寄附金	広域連合に対する寄附金
繰入金	財政調整基金からの繰入れ
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
議会費	広域連合の議員報酬や議会の運営のための経費
総務費	職員の人件費や広域連合の運営に要する経費
民生費	後期高齢者医療特別会計の事務費等の経費に充てる繰出金
公債費	一時的な現金不足に対処するため、金融機関等から借り入れる資金に対する支払利子
予備費	不測の支出に備えるための経費

2 後期高齢者医療特別会計

(歳 入)

区 分	説 明
市町支出金	被保険者から徴収した保険料や、被保険者が受けた医療給付の1/12相当の市町の公費負担
国庫支出金	被保険者が受けた医療給付の3/12相当の公費負担や、広域連合間の財政調整を目的とした調整交付金等
県支出金	被保険者が受けた医療給付の1/12相当の公費負担等
支払基金交付金	現役世代からの後期高齢者支援金
特別高額医療費 共同事業交付金	著しく高額な医療費の発生による影響を緩和するための交付金
財産収入	基金の運用預金利子
寄附金	医療費に対する寄附金
繰入金	一般会計，臨時特例基金，給付準備基金からの繰入金
繰越金	前年度の決算剰余金の繰越し
県財政安定化基金 借入金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金からの借入金
諸収入	その他の収入

(歳 出)

区 分	説 明
総務費	後期高齢者医療制度の事務執行に伴う経費
保険給付費	療養給付費，高額療養費，葬祭費等の保険給付のための経費
県財政安定化基金 拠出金	後期高齢者医療の財政安定化を目的に県が設置する基金に積み立てる経費（国・県・広域連合の負担率各1/3）
特別高額医療費 共同事業拠出金	全国の広域連合が負担し，特別高額医療費共同事業交付金の財源となる拠出金
保健事業費	各市町で行う被保険者の健康診査等の保健事業に対する補助金
基金積立金	臨時特例基金，給付準備基金への積立金
公債費	一時的な現金不足に対処するため，借り入れる資金に対する支払利子
諸支出金	国庫負担金，県負担金，市町負担金の返還等に要する経費
予備費	不測の支出に備えるための経費

平成23年度広域連合の決算の状況

1 平成23年度の事業

平成23年度、広域連合では平成22年度に引き続き、被保険者に安定した医療給付を実施していくための各種の事業を行い、制度の円滑かつ効率的な運営に努めました。

各会計の主な支出は次のとおりです。

●平成23年度一般会計の主な事業

主な経費としては、後期高齢者医療特別会計の事務費に充てるための事務費繰出金（594,812千円）、派遣職員の給料等負担金（229,216千円）、将来の財政負担に備える財政調整基金への積立金（47,572千円）、不均一賦課の実施に伴う保険料軽減相当分の特別会計への繰出金（12,139千円）等となっています。

●平成23年度後期高齢者医療特別会計の主な事業

主な経費としては、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費（338,459,289千円）、保険料の軽減等に充てるための臨時特例基金への積立金（1,774,586千円）、電算処理システムの安定稼動と適正運用のための広域連合電算処理システム運用管理事業（183,847千円）、レセプト点検や医療費通知、後発医薬品の周知等の医療費適正化事業（147,227千円）、レセプトの資格確認等の事務代行業務委託料（183,349千円）等となっています。

2 平成23年度一般会計の決算状況

歳入決算額	9億2,526万2,763円
歳出決算額	9億2,504万1,763円
歳入歳出差引額	22万1,000円

この差引額は、平成23年度の剰余金として平成24年度に繰越し、国庫補助金の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

平成23年度一般会計の財源構成は、構成市町からの負担金が全体の83.4%を占め、次いで前年度からの繰入金が9.9%、繰越金が5.2%となっています。

前年度と比較すると、合計で△86,949千円(△8.6%)の減となっておりますが、これは主に、構成市町負担金が△79,031千円(△9.3%)、繰越金が△52,265千円(△52.2%)減額となったことによるものです。

(歳入)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
分担金及び負担金	771,779	771,779	100.0%	83.4%	850,810	△79,031	△9.3%
国庫支出金	6,739	6,415	95.2%	0.7%	6,386	29	0.5%
県支出金	6,394	6,070	94.9%	0.7%	6,083	△13	△0.2%
財産収入	724	723	99.9%	0.1%	840	△117	△13.9%
寄附金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰入金	152,929	91,948	60.1%	9.9%	47,225	44,723	94.7%
繰越金	47,788	47,787	100.0%	5.2%	100,053	△52,266	△52.2%
諸収入	799	541	67.7%	0.1%	815	△274	△33.6%
合計	987,153	925,263	93.7%	100.0%	1,012,212	△86,949	△8.6%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成23年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、特別会計事務費繰出金等の民生費が65.6%を占め、次いで広域連合事務局の運営経費である総務費が全体の34.3%となっています。

前年度と比較すると、総務費の派遣職員給料等負担金や財政調整基金の積立金の減額による、総務費の△51,223千円(△13.9%)の減を中心に、合計で△39,382千円(△4.1%)の減となりました。

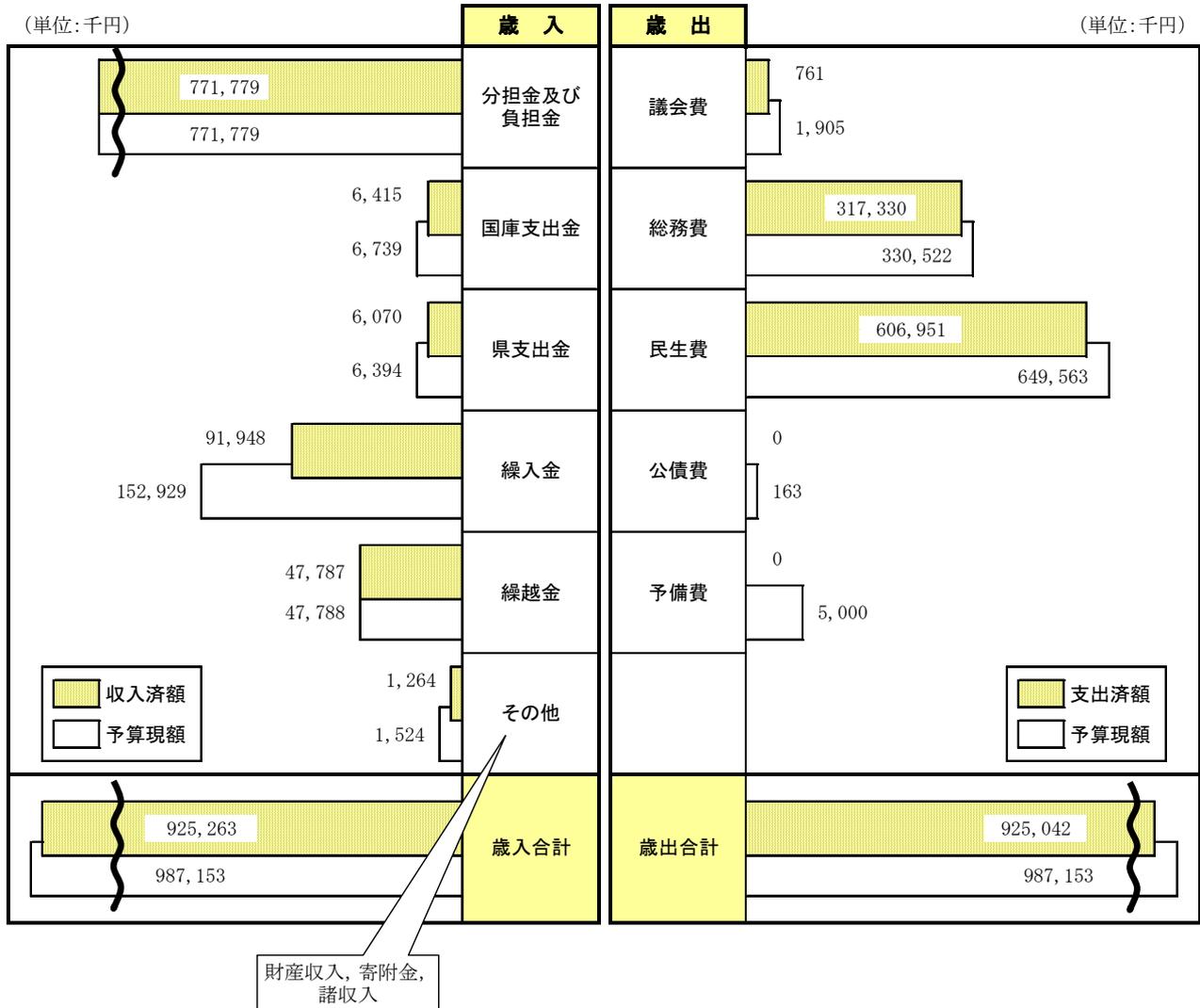
(歳出)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
議会費	1,905	761	39.9%	0.1%	949	△188	△19.8%
総務費	330,522	317,330	96.0%	34.3%	368,553	△51,223	△13.9%
民生費	649,563	606,951	93.4%	65.6%	594,922	12,029	2.0%
公債費	163	0	0.0%	0.0%	0	0	—
予備費	5,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合 計	987,153	925,042	93.7%	100.0%	964,424	△39,382	△4.1%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成23年度一般会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。

3 平成23年度後期高齢者医療特別会計の決算状況

歳入決算額	3,425億195万3,142円
歳出決算額	3,425億149万7,134円
歳入歳出差引額	45万6,008円

この差引額は、平成23年度の剰余金として平成24年度に繰り越し、国庫補助金等の返還金の財源に充てます。

(1) 歳入の状況

平成23年度後期高齢者医療特別会計の財源構成は、現役世代からの支援金である支払基金交付金が全体の42.0%を占め、次いで国庫支出金が33.1%、市町支出金が15.6%、県支出金が8.1%となっています。

(歳入)

(単位:千円)

区 分	予算現額 (A)	収入済額 (B)	収入率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 収入済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
市町支出金	54,620,569	53,561,720	98.1%	15.6%	51,841,972	1,719,748	3.3%
市町保険料負担金	(27,247,742)	(26,862,092)	(98.6%)	(7.8%)	(26,333,100)	(528,992)	(2.0%)
国庫支出金	116,754,070	113,279,521	97.0%	33.1%	109,224,508	4,055,013	3.7%
県支出金	28,247,185	27,637,517	97.8%	8.1%	26,516,054	1,121,463	4.2%
支払基金交付金	149,180,790	143,913,494	96.5%	42.0%	139,663,421	4,250,073	3.0%
特別高額医療費 共同事業交付金	41,074	50,764	123.6%	0.0%	61,348	△10,584	△17.3%
財産収入	3,348	3,348	100.0%	0.0%	3,281	67	2.0%
寄附金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
繰入金	5,508,771	3,614,165	65.6%	1.1%	2,553,027	1,061,138	41.6%
県財政安定化 基金借入金	1	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸収入	251,686	439,406	174.6%	0.1%	314,874	124,532	39.5%
繰越金	2,018	2,018	100.0%	0.0%	4,567,217	△4,565,199	△100.0%
合 計	354,609,513	342,501,953	96.6%	100.0%	334,745,702	7,756,251	2.3%

※市町保険料負担金:市町支出金のうち保険料についての再掲

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

(2) 歳出の状況

平成23年度の歳出の状況を行政目的別に見ると、被保険者の医療機関等での受診に対する療養給付費を中心とした保険給付費が全体の98.8%と歳出総額のほとんどを占め、次いで基金積立金が0.5%となっています。

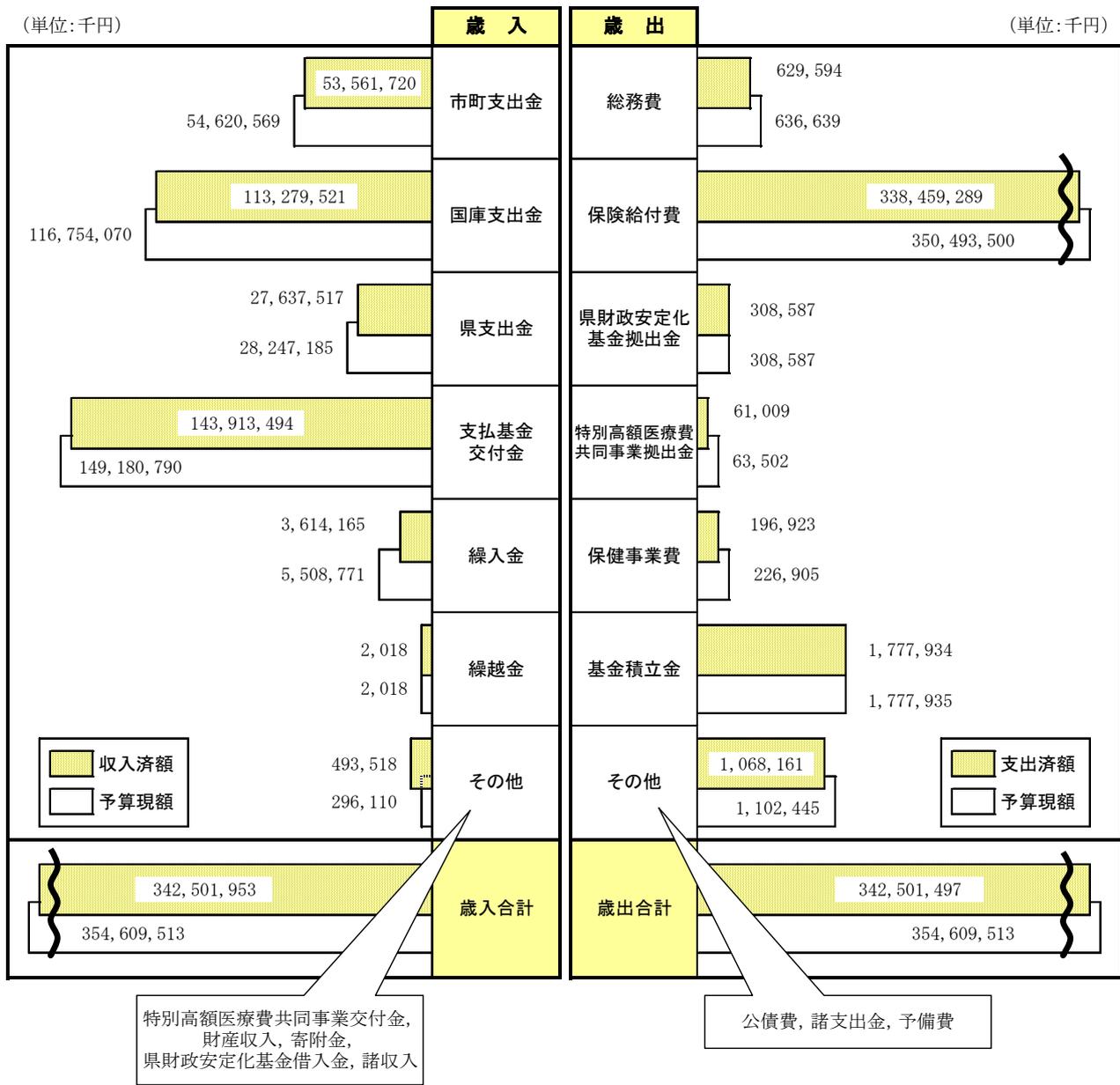
(歳出)

(単位:千円)

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	支出率 (B/A)	全体に 占める 割合	前年度 支出済額 (C)	増減 (D=B-C)	増減率 (D/C)
総務費	636,639	629,594	98.9%	0.2%	614,401	15,193	2.5%
保険給付費	350,493,500	338,459,289	96.6%	98.8%	326,696,859	11,762,430	3.6%
県財政安定化 基金拠出金	308,587	308,587	100.0%	0.1%	308,587	0	0.0%
特別高額医療費 共同事業拠出金	63,502	61,009	96.1%	0.0%	57,238	3,771	6.6%
保健事業費	226,905	196,923	86.8%	0.1%	164,778	32,145	19.5%
基金積立金	1,777,935	1,777,934	100.0%	0.5%	2,638,529	△860,595	△32.6%
公債費	3,247	0	0.0%	0.0%	0	0	—
諸支出金	1,074,198	1,068,161	99.4%	0.3%	4,263,291	△3,195,130	△74.9%
予備費	25,000	0	0.0%	0.0%	0	0	—
合計	354,609,513	342,501,497	96.6%	100.0%	334,743,683	7,757,814	2.3%

(注) 端数処理の都合で全体に占める割合の合計が100.0%にならない場合があります。

グラフ「平成23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の状況」



(注) 上のグラフには、視覚的にわかりやすくするため、数値に対する棒グラフの長さの比率を修正している箇所があります。